

SANYO 製洗濯機(ASW-ZR700)

洗剤ゼロコース評価試験

2001年 10月1日

(財) 綿糸織物検査協会

大阪検査試験センター

堺市浜寺石津町東 2-5-25

電話 072-243-4500

FAX 072-243-4501

1. 概要・目的

本試験は、P & G F E 社 研究開発本部の依頼に基づいて行われた。本試験の目的は、本年8月に新発売された「洗剤を使用せず洗濯をするコース」を備えた新方式の洗濯機である三洋電機(株)製の家庭用全自動電気洗濯機 (A S W - Z R) によって「洗剤ゼロコース」で洗った場合と「洗剤使用コース」で洗った場合の被洗物に対する影響(衣類の変退色、型崩れ)を比較することである。

2. 総括

「洗剤ゼロコース」による洗濯で次のようなことが観察された。

(1) 被洗物の変退色。

洗液中の有効塩素濃度が上昇するために起こると考えられる。塩素処理水堅牢度の低い色に対しては使用できないケースも起こりうることが示唆される。

(2) 被洗物の損傷。

洗濯時間(攪拌時間)が長いため、生地への物理的なダメージが大きくなるためと考えられる。

(3) 洗濯時の移染。

濃色の製品の場合、特に洗濯回数の少ない時点で、他の被洗物への移染が見られた。洗剤がないため、繊維上の未固着染料が除去されにくく、被洗物同士が接触したときに移染を起こすと考えられる。

(4) 洗濯後の風合い変化(硬化)。

風合いの柔らかい製品は、洗濯により硬くなる傾向がある。

(5) 蛍光増白剤で処理された製品への影響。

蛍光増白剤処理が施されている製品、特に綿製品では洗濯を繰り返すことによりくすみが生じる。ただし、蛍光増白剤処理が施されていない製品にはあてはまらない。